



校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠

オンラインゲームの落とし穴

「みんな持っているんだから。」・・・そんな我が子の言葉を聞くと・・・。与えれば、さまざまにリスクが心配されるオンラインゲームであっても、ついつい、情にほだされて・・・。そして、与えることにしたそのとき、我が子をリスクから守るために、いろいろなことを言って聞かせ、約束もさせるのですが・・・。その後も決して子供任せにはせずとは思いつつも、四六時中チェックしていただけるわけでもなく、そのうちに我が子に限ってと思っていたことが実際に起こってしまったら・・・。

それは一体どんなトラブルなのか。それをどう防げばよいのか。ここでは、オンラインゲームの中でも、子供たちに特に人気の高い「敵を倒して最後の1人になれば勝ち！」といったいわゆるバトルロイヤル系ゲームなるものについて、触れておきたいと思います。

1 暴言が飛び交い、そのことで自分自身も相手も傷つける恐れがある

「我が子がボイスチャット（他のゲーム参加者と話しながらプレイできるというもの）で『死ね！』『消えろ！』とののしり合いながらゲームをしている姿を見て親としてショックを受けた。」というのも、一般的にはよく聞く話。また、チームゲームとしてやっている中で、下手だからという理由でフレンド（オンラインゲーム上でつながっている仲間）からキック（チームから外されること。仲間はずれにされること）されるということもあるとのこと。

→【予防策】保護者がそばにいる状況下でしかゲームをさせない。

2 知らない人とプレイすることで、犯罪に巻き込まれる恐れがある

我が子が知らない人とオンラインでつながりゲームをしている場合があります。そのうちに、親しくなったような錯覚に陥り、直接会うなどしてさまざまな被害に遭うこともあるようです。

→【予防策】知らない人とは絶対にプレイしない。

3 保護者の知らないうちに高額請求が来てしまったり、「おごり、おごられ」の状況に陥ってしまったりする恐れがある

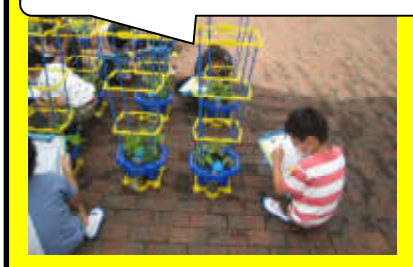
このことについては、令和元年12月19日付校長だより42号「まさか 我が子がゲーム機トラブルに・・・」で詳しく書かせていただいたところです。これらのゲームは基本的なプレイは無料ですが、スキンと呼ばれるアイコンが次々と欲しくなり、課金（画面上で買う）をして、いつの間にか高額請求が来たり、課金して手に入れたスキンをギフト（画面上で相手にあげたり、もらったりする）と称して、「おごり、おごられ」を平気で行ったり・・・。

→【予防策】クレジットカード等からの引き落としが簡単にはできないようにしておいたり、スキンをギフトすることは「おごり、おごられ」にあたるから絶対にしてはならないことを約束しておいたりする。

<コロナ対策> 距離・間隔をとって！
(体育の授業)



アサガオがすくすく育っています（1年）



ミニトマトもすくすく育っています（2年）

